

英語科学習指導案

1. 日時 : 令和3年6月3日(木) 5時限目
2. 場所 : 1年G組教室
3. 学年・組 : 1年G組 40名(男子13名、女子27名)
4. 使用教材 : "FLEX 1 ENGLISH COMMUNICATION" (増進堂)
5. 単元名 : Lesson 2 "Hacking Your Brain"
6. 授業観について

(1) 教材観

本単元では、主に脳とスポーツの関係について説明されている。スポーツは私たちにとって非常に身近な話題であり、親しみやすい。また、この教材から学び得ることの数々は、スポーツだけでなくその他、勉強や仕事などにも適用できると考えられる。私たちの日常生活には脳の働きが密接に関わっていることを知り、これからの生活に応用できることを目標とする。

<part 別概要>

- ・ part 1 : 体力や技術だけでなく思考が勝敗に影響を及ぼす。
- ・ part 2 : 何千時間もの反復練習の結果「ゾーンに入る」ことができ、その時に完全な能力を発揮できる。
- ・ part 3 : チームスポーツにおいてはチームワークが欠かせず、キャプテンの指示を受け、一つになる必要がある。
- ・ part 4 : 終着点をあまり考えず、また、大きな目標を小さな目標の積み重ねだと考えることで達成することが可能となる。

(2) 指導観

クラスみんなが共感できるような内容の導入を行い、教材に親しみを持ってもらう。一方的な指導にならないように、ペアワーク・グループワークを取り入れ、生徒たち自らが考える時間を取り入れる。各 part のまとめでは、アウトプット活動としてグループワークを行い、学んだことの再確認をする。

(3) 生徒観

授業に真面目に取り組んでくれる生徒がほとんどである。私語もほとんど見られず、教師の発言・発問に対して真剣に取り組んでくれる印象である。ただ、自ら考え学ぼうとする積極性が高いとは言えないため、生徒が主体的に取り組める活動を提供する必要がある。

7. 単元の評価基準

A. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	B. 外国語表現の能力	C. 外国語理解の能力	D. 言語や文化についての知識・理解
① 積極的に取り組む姿勢が見られる。 ② ペアやグループで協力して活動に取り組むことができる。 ③ 積極的に声を出して音読、発言しようとしている。	① 内容を理解し、発問に対し、英語で答えようと努めている。 ② 自分の意見について英語で表現することができる。	① 本文を読んで、内容を理解し、概要や要点を押えることができる。 ② 新出事項・文法・本文の内容を理解することができる。	① 本文を通して、スポーツと脳の関わりについて理解することができる。 ② 本単元の重要事項の表現、意味や働き、形について理解できる。

8. 単元の指導計画

1 時間目	part 1 の導入、展開
2 時間目	part 1 の展開、グループワーク
3 時間目	part 2 の導入、展開
4 時間目	part 2 の展開、グループワーク
5 時間目	part 3 の導入、展開
6 時間目	part 3 の展開、グループワーク (本時)
7 時間目	part 4 の導入、展開
8 時間目	part 4 の展開、グループワーク
9 時間目	Lesson 2 のまとめ

9. 本時

(1) 本時のねらい

- ・本文の内容理解を進める上で、チームスポーツにおいてチームワークを築くことがいかに重要かについて理解を深める。
- ・学んだ本文の内容について、積極的にグループで話し合い、グループワークをすることによって内容の要点をまとめることができる。

(2) 本時の指導計画

時間	学習内容	生徒の学習活動	教師の指導、留意点	評価
<p>導入 5分</p>	<p>○挨拶</p> <p>○導入の会話</p>	<p>・英語で挨拶をする。</p> <p>・英語を使う準備をする。</p> <p>・ part 3 の keyword である“teamwork” についての質問に答える。</p> <p>・ part 3 の内容確認を行う</p>	<p>・生徒の顔が前を向いて声を出しているかを確認する。</p> <p>・ 前回の授業で学んだことを確認し、本時の内容への興味・関心を喚起する。</p> <p>・ 生徒と1対1の会話をするのではなく、クラスを巻き込んで質問するよう注意する。</p> <p>Q: <u>Do you remember the keyword of part 3?</u></p> <p>Q1. What sports did you learn in part 3?</p> <p>Q2. What is the most popular sport in Japan?</p> <p>・内容確認によって、本時のメイン活動であるグループワークにスムーズに繋げる。</p>	<p>A③</p> <p>A①・③ B①・②</p>
<p>5分</p>	<p>○グループワークへの導入</p>	<p>・グループ活動の流れ理解する。</p> <p>① Qに対する5つの答えの確認をする。</p> <p>② ディスカッションを行う。</p>	<p>・ 4人1グループになるように指示する。</p> <p><留意点></p> <p>・ グループワークは感染症対策を考慮し行う。</p> <p>→グループワークは向かい合っ て行わず、顔は黒板の方向を向く ように指示をする。</p> <p>→必ず距離をとって行う。</p>	

			<p>→近くで話している生徒がいれば、注意する。</p> <p>・ Groupwork Sheet を出すよう指示する。</p>	
<p>展開① 10分</p>	<p>○グループワーク ①</p>	<p>・探してきた5つの答えをグループで確認する。 →グループで答えをまとめ、ホワイトボードに書く。</p>	<p>・机間巡視を行い、活動ができて いるか確認する。 <確認点> Q. What is needed for a team to be one? ・5つの答えを書けているか。</p>	<p>A①・②・③ B② C①・② D①</p>
<p>確認 5分</p>	<p>○グループワーク ①の確認</p>	<p>・グループの解答が模範解答と 比べてどう違うか、どこが合っ ているかを話し合う。 →書き直すよう指示する</p>	<p>・5つの答えの模範解答を示す。 ・言い回しなどが違っても、内容 が同じなら構わない旨を伝える。</p>	<p>A①・②・③ B②</p>

<p>展開② 15分</p>	<p>○グループワーク ②</p>	<p>・グループの解答を一つ話し合 って選ぶ。</p> <p>・選んだ考えをホワイトボード に書く。</p> <p>・発表の原稿をプリントに従っ て考える。</p>	<p>・グループの解答を一つ選ぶ際 に、必ず選んだ根拠も一緒に考え させる。</p> <p>・最後に発表する旨を伝え、発表 の分担を決めておくよう指示す る。</p> <p>グループワーク①で出した5つ の答えの中から、もしくは、グル ープ内で出たオリジナルの考え でも良いと指示する。</p>	<p>A①・②・③ B①・②</p>
<p>発表 5分</p>	<p>○グループワーク ②の発表</p>	<p>・教卓前で発表する。</p>	<p>・書いたグループからホワイト ボードを黒板に貼りに来るよう 指示する。</p> <p>→2グループ程度に発表しても らう。</p> <p><発表する際の注意点></p> <p>① 大きな声でハキハキと言う。 ② 原稿をなるべく見ない。 ③ 聞いている人の顔を見る。</p>	<p>B②</p>

